

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和2年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立介護実習普及センター	所管課	福祉保健部 健康長寿推進課
所在地	甲府市北新1-2-12	設置年月日 (改築年月日等)	平成9年4月1日
管理方式	社会福祉法人山梨県社会福祉協議会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立介護実習普及センター設置及び管理条例		
設置目的	高齢者の介護に関する知識及び技術を普及し、もって高齢者の福祉の向上を図るため。		
主な施設内容 (定員等)	○延床面積 447.30 m ² (山梨県福祉プラザ1階) ・福祉用具展示室 160.05m ² ・介護実習室 142.60m ² ・事務室 29.58m ² ・調理実習室 68.75m ² ・相談室 13.20 m ² ・自助具室 13.12m ² ・倉庫 20.00m ²		
主な業務内容	(1)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (2)高齢者の介護に関する講座及び研修の実施に関する業務 (3)高齢者の介護に関する相談及び情報提供に関する業務 (4)高齢者の介護用機器に関する展示に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	
------------------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (目標値)
利用者数	利用者数	13,231	14,073	3,884	
	(うち受講者数)	2,881	3,195	759	
	利用者数合計	13,231	14,073	3,884	
	目標値	11,836	11,836	11,836	11,836
	目標値設定の考え方及びその理由	現行の指定管理(R1~R4)の策定時において、直近(R1)と同数を目指値として設定した。			
対平成30年度比		106.4%	29.4%	89.5%	
利用率	82.8%	92.0%	25.5%	25.6%	

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)	令和2年度 (実績値)	令和3年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	36,055,000	36,387,000	34,699,397	36,387,000
	その他	28,000	23,000		23,000
	収入合計(A)	36,083,000	36,410,000	34,699,397	36,410,000
支出	人件費	23,905,042	21,615,000	21,321,823	21,615,000
	県への納付金				
	管理運営費	11,899,399	14,795,000	12,524,859	14,795,000
	うち外部委託費(B)	173,600		115,500	
	支出合計(C)	35,804,441	36,410,000	33,846,682	36,410,000
収支差額(A-C)		278,559		852,715	
外部委託比率(B÷C)		0.5%		0.3%	
利用者一人当たりの経費		2,562.0	3,074.3	8,933.9	3,074.3

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	(1)実施時期:令和2年4月～令和3年3月 (2)実施方法: ①基本事業(認知症サポーター養成講座等)受講に関するアンケート ②支援事業(テーマ別介護講座等)受講に関するアンケート ③養成事業(介護職員研修等)受講に関するアンケート ④展示に関するアンケート (3)回答数: ①276人(回収率:95.1%) ②講義:63人(回収率:98%)、実技:67人(回収率:94%) ③50人(回収率:77%) ④234人(回収率:86.9%)
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①講座の評価	75.4%	24.3%	0.3%	
②講座の評価(講義)	73.0%	27.0%		
②講座の評価(実技)	77.6%	20.9%	1.5%	
③講座の評価	78.0%	20.0%	2.0%	
④展示の評価	87.2%	12.4%	0.4%	
施設全般の満足度	90.0%	6.0%	3.0%	1.0%

利用者の意見	<講座> ・親が認知症。同居している家族がどう接したらいいか考えるきっかけになった。 ・毎回勉強になっている。また受講したい。 ・AEDの体験が良かった。119番のかけ方の話がためになった。 ・看取りは不安なことが多いと思っていたが、受講して不安感がなくなった。 ・分かりやすい研修だった。内部研修に取り入れたい。 <展示> ・知らなかったものがあり、勉強になった。 ・祖母に教えてあげたい。 ・介護のために様々な福祉用具があり、とても便利だと思った。 ・介護者の気持ちが理解できた。 ・何年も前に来たことがあるが、福祉用具の開発が進んでいると感じた。 ・職員の詳しい説明に満足した。
利用者の意見への対応	アンケートの集計結果では、満足・どちらかといえば満足という意見が多いが、さらに満足度を高めるため、より充実した内容の講座や展示となるよう様々な工夫や内容の見直しに努める。 また新型コロナウイルス感染症の影響により、中止を余儀なくされた講座について、令和3年度は、県担当課と相談のうえ感染対策を十分に講ずるとともに、オンライン配信を拡充し、指定された研修の開催に努めたい。 オンライン研修では、実技を伴う研修もあることから、講師と相談しながら、より分かりやすい研修の実施に努めたい。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>毎朝の部分清掃に併せて破損や盗難、故障がないかチェックを行った。電動展示品など危険を伴う機器もあるため、見学時には必ず職員が立会い、事故のないように努めた。休憩時間等の消灯など節電に努め、光熱水費の削減を行った。</p>	<p>清掃、設備の点検が事業計画書どおり実施されており、安全な展示室づくりに努めている。</p>
運営業務	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により利用者は激減した。(目標利用者数11,836人 実績3,884人) 感染対策を十分に取るとともに、オンライン配信を拡充して昨年度中止となった講座・研修が極力開催できるよう努める。展示室レイアウトの変更を行い、展示品の一部を更新した。またホームページを刷新し、新たにフェイスブック、Instagramを開設した。 これらを活用した周知・PRを行い、利用者数が増加するよう努めたい。</p>	<p>事業報告書及び現地確認の結果、適正に実施されている。新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった講座もあるが、適切な感染症対策を講じていることは評価できる。 引き続き、適切な感染症対策を講じるとともに、オンライン講座の開催などを積極的に行い、利用者数の増加に努めてもらいたい。 また、展示室のレイアウト変更や展示品の更新など利用者目線での事業展開を行っているとともに、ホームページ刷新やSNSを活用した周知を行うなど、引き続き、積極的なPR活動を行ってもらいたい。</p>
利用状況	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により休館した時期もあり、来館者、相談件数等は大幅に減少した。(来所者、相談者数計 R2年度2,591人、R元年度8,667人) また、研修については実技を伴う講座やグループワークのある講座は中止したことから、受講者数も大幅に減少した。(受講者数計 R2年度786名、R元年度3,529名) 令和3年度は、感染予防対策を十分に取るとともに、実技においてはモデル人形を用いた講師によるデモンストレーションに代替したり、オンライン配信による講座の拡充により、前年度より多くの講座を開催するよう努力したい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、センターの休止や講座中止などにより、利用者が前年度と比べて大幅に減少した。 適切な新型コロナウイルス対策や講座内容の変更、オンライン講座への切替などにより、受講者や利用者が増加するよう、努めていただきたい。</p>
収支状況	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による講座・研修の中止により、コロナ対応のため、フェイスシールドや手指消毒液、非接触型体温計などの消耗品を購入。 講座においては、実技に代え、デモンストレーションを行うため、介護実習人形や口腔ケアモデル人形などの備品を購入。 また、所内LAN回線工事やZoomウェビナー契約など、オンライン講座を開催するために必要な経費を支出。</p>	<p>利用者数の大幅な減少に伴い、令和2年度の利用者数1人当たりの経費が前年度を大幅に上回っている。 また、新型コロナウイルス対策に係る消耗品等の購入により、消耗品費の増加が顕著にみられる。 引き続き予算の効率的な執行に配慮するとともに、消耗品の購入に際しては、必要性を見極めたうえで、慎重に判断いただきたい。 備品購入については、計画的に行い、予め県に協議することを徹底いただきたい。</p>

<p>自主事業</p>	<p>家族介護者向けの介護講座の充実を図っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用は低調だった。貸出事業のうち、「高齢者疑似体験セット」は返却時の消毒作業が困難なこと等の理由により貸出を行わなかった。要望の少ない講座もあることから、令和3年度は引き続き講座の周知を積極的に行い、利用者の増に努めたい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、全体的に講座の要望は少なかった。アンケート等により、県民ニーズを把握のうえ、新たに講座を設けるなど、事業展開を創意工夫し、実施していただきたい。</p>
<p>利用者満足度</p>	<p>アンケート結果から、センター利用者の評価は概ね良かった。引き続き講座の内容、相談体制を充実させて利用者が満足する講座の開催に努めていきたい。</p>	<p>「満足」「どちらかといえば満足」という意見が9割以上であり、利用者の満足度は高いことが伺える。引き続き、県民ニーズを把握のうえ、各種事業の展開を図っていただきたい。</p>
<p>運営目標の達成状況</p>	<p>介護知識・技術の普及、介護機器・福祉用具の啓発及び介護に関する相談体制の強化を目標として施設運営に取り組んだが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うセンターの休館、また多くの介護講座を中止した影響で利用者数は3,884人となり、目標値11,836人に対して7,952人(67.1%)の大幅減となった。介護講座の開催周知については、昨年度に引き続き甲府市の「回覧板」を活用したり、県社協ホームページ、フェイスブックを活用した。</p>	
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設管理・運營業務・自主事業等について、条例、協定等に基づき概ね適正に履行した。新型コロナウイルス感染症の影響により、センターの休止や多くの介護講座を中止せざるを得ない状況となり、利用者が目標値を大幅に下回る結果となった。介護講座の開催可否等は、新型コロナウイルス感染症防止のため、都度協議を行うとともに、手指消毒やパーティション設置など、県の感染拡大予防ガイドラインに則したチェックリストを活用し、適切な感染症防止対策を講じるよう指導を行い、適切な対応が講じられていることを確認した。引き続き、適切な新型コロナウイルス感染症対策を講じるとともに、利用者の増加や高齢化が進展する本県の状況を踏まえ、在宅介護に対する知識やよりよい実践方法の普及を図るとともに増加する認知症に対する理解が促進されるよう取り組みの充実が図られることを期待する。</p>	
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は、目標値、前年度実績ともに下回った。令和2年度も、関係機関との周知連携を深め、家族介護者及び企業・団体などにおける新たな利用者を増やすため、令和元年度に引き続き甲府市の「回覧板」や県社協ホームページ、フェイスブックなどを活用し、一層の利用者数の増加に努めた。さらに、多様化する受講者や利用者のニーズに対応するため、カリキュラムや展示、相談、助言方法の見直しを行うとともに、認知症対策などの重要課題に対応するため、公平な立場で県下全域への普及を図るための事業展開を実施した。利用者に安心して来館してもらえるよう、感染症対策を講じ、オンラインにも対応できるよう設備を整え、積極的に対応した。</p>	

7 管理体制(組織図)

令和2年4月1日現在

